

高教組通信 No.1

高教組 HP にも UP しています

2022.6.3 発行



発行所：兵庫県高等学校教職員組合 神戸市中央区北長狭通 5 丁目 2-10

Tel 078(341)6745

「戦争やめて」さらに大きく！ ウクライナ市民支援カンパにもご協力ください

ロシアによるウクライナ侵攻が続いています。この間、世界各地から「戦争やめて」の声が上がり、各国からの経済制裁も継続されているのに、終わりが見えません。高教組は県内の平和団体と連携して戦争反対の声を上げてきましたが、さらに声を大きくする必要があります。無料でダウンロードできるプラスターなどを街頭で掲示したり、シールを車に貼ったりして、平和を守る一人ひとりの意思を示していきましょう。また、ウクライナの市民への人道支援カンパも取り組んでいます。職場でカンパ袋が回覧もしくは掲示されていると思います。ぜひご協力ください。



絵本作家・長谷川義文さんデザイン
吹田市職労 Twitter からダウンロードできます



今年のメーデーは、「戦争やめて」と合わせて
「憲法守ろう」の声が大きく上がりました

ウクライナ危機に乗じた軍備増強・憲法改悪を許さない！

連日の報道で国民の不安が高まる中、急激に進められようとしているのが、軍備増強と憲法9条改悪の動きです。各政党や政治家の発言も過激になってきました。

「核の抑止力は安全保障上重要。(アメリカの核兵器を同盟国で共有することについて) 議論を進める必要」

安倍晋三氏 文芸春秋インタビューにて

「核共有による防衛力強化」 日本維新の会 松井一郎大阪市長 3月3日外務省提出の提言より。

「日本の防衛力を基本的に強化。防衛費の相当な増額を表明し、強い支持をいただいた」

岸田総理 5月23日 バイデン米大統領首脳会議後の記者会見にて

唯一の被爆国である日本がアメリカの核兵器を共有するなど、あってはならないことです。防衛力の強化として「敵基地攻撃能力」を「反撃能力」と言い換えてまで持とうとする議論も出ています。今の憲法で認められているのは個別の自衛権による「専守防衛」であり、「敵基地攻撃」構想自体が先制攻撃に値し、憲法違反です。政府与党や維新の会など改憲勢力は、7月投開票の参議院選挙で議席を伸ばし、憲法9条の改悪を狙っています。自民党案では自衛隊を明記し、集団的自衛権のもとで「戦力」として位置づけようとしています。日本の平和は武力で奪い取るものでなく、憲法9条を生かした外交で築いていくものではないでしょうか。

参議院選挙で平和を守る思いを示そう！

参議院選挙が6月22日公示、7月10日投開票と近づいてきました。この選挙は日本が平和を守れるかどうかの大きな分岐点になります。「教え子を戦場に送らない」私たち教職員はその思いを強くもって、投票行動で示しましょう。

5月21日 高教組定期大会 特別決議

日本国憲法を守り抜こう

～ロシアによるウクライナ侵攻から気づくこと～

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まってから、まもなく3か月になろうとしています。ウクライナ政府の発表では、民間人の死者数が3000人を超え、その中には子どもも200人以上含まれています。実際にニュース報道で見る泣きながら避難する子どもの映像には、胸が締め付けられる思いです。戦争は人の命も、人の心も奪うもので、絶対にあってはならないものです。一刻も早く戦争が終結することを願って、「戦争やめろ」の声を上げ続けなければなりません。また、避難民としてウクライナから日本に受け入れた方々が安心して暮らせる生活基盤を、官民挙げて整備することが求められています。

私たちにも平和を脅かす事態が進行しています。ウクライナ侵攻の中で迎えた今年の憲法記念日、危機に乗じた岸田政権は、「敵基地攻撃能力」の保有に意欲を見せました。「敵基地攻撃」は明らかな先制攻撃であり、憲法9条違反です。岸田政権によると「軍事費をNATOなみにGDP2%にする」という目標も掲げられ、急速に軍拡を進めようとしています。その動きに妨げとなるのが、憲法9条です。政府は憲法9条を変えて自衛隊を明記し、集団的自衛権を行使してアメリカと一体化し、日本を戦争ができる国にしようとしています。そのため、7月に行われる参議院選挙において、改憲勢力で3分の2の議席確保を狙っています。これを何としても止めなくてはなりません。

武力に武力で対抗しても、憎しみしか残りません。私たちは、アジアで2000万人、国内で300万人の犠牲を強いた戦争への反省から、戦争を放棄し、軍隊を持たない平和な国を誓い、日本国憲法を作りました。「攻められたらどうする」ではなく、いかにして「紛争を戦争にしない」平和な国際環境をつくるかが大事で、憲法9条をいかした対話による外交努力こそを重視すべきです。

高教組は、「教え子を再び戦場に送らない」の強い信念で、憲法改悪を阻止するために、平和を守る勢力と連帯して闘っていきます。平和な未来をともに目指しましょう。

2022年5月21日

兵庫県高等学校教職員組合 第106回定期大会